

# 適性検査 1

検査時間 9：15～10：00

(45分間)

## [ 注 意 ]

- 1 「始めてください。」と言われてから、開いてください。
- 2 「始めてください。」と言われたら、「記入用紙」の「受検番号」欄に、らん受検番号を書いてから、始めてください。
- 3 となりの人と話したり、用具の貸し借りをしたりしないでください。
- 4 ひとりごとを言ったり、わき見をしたりしないでください。
- 5 見にくいところがあったり、ページがとんでいたりしたら、だまって手をあげてください。
- 6 えんぴつ鉛筆や消しゴムを落としたときは、だまって手をあげてください。
- 7 「やめてください。」と言われたら、筆記用具を置き、指示にしたがってください。
- 8 さっし問題冊子は全部で4ページです。さっし問題冊子に、【資料】が2枚はさんであります。

【適性検査1】 あなたの考えを、「記入用紙」に書きましょう。

1 たろうさんは、夏休みの宿題に、課題図書である「世界で大活躍できる13歳からの学び」という本を読みました。そして、同じ本を読んだ人たちと、深く感心したことについて交流することになりました。

【資料1】は、たろうさんが読んだ本の一部です。【資料1】を読んで、問1～問3に答えなさい。

問1 次のA、B、Cの文のうち、「 」に当てはまるもの全ての記号を答えなさい。

- A テストでよい結果を出し、褒められること。
- B 歴史に興味があり、武将について勉強すると楽しいこと。
- C 風呂掃除をして、家族に感謝されること。

問2 【資料1】の「 」では、報酬を与えられた大学生のグループと報酬を与えられなかった大学生のグループでは、どちらのほうが意欲的に取り組んだと言えますか。

デシ教授が意欲的に取り組んだと判断したグループと、そのように判断した理由について、文章中の言葉を用いて、句読点を含め50字以上70字以内で書きなさい。

問3 たろうさんは、深く感心したことを伝えるために、【資料1】の文章の一部を引用して、文章を書くことにしました。

あなたがたろうさんだとしたら、どのように書きますか。

引用した文章を記入するとともに、以下の条件にしたがって、句読点を含め160字以上200字以内で書きなさい。

- 条件1 引用した文章の一部から自分が考えたことを書くこと。
- 条件2 【資料1】から学んだことを、今後の生活の中でどのように生かしていきたいか書くこと。
- 条件3 読み手に自分の考えが伝わるように、文章表現を工夫すること。

※ 著作権の都合上、別紙の【資料1】及び問題文の一部を掲載していません。

このページに問題はありません。

次のページに進みなさい。

2 高志第一小学校の6年生では、総合的な学習の時間に、新潟市の環境<sup>かんきょう</sup>について調べています。この学級のたかしさんとさくらさんのグループは、二酸化炭素などの温室効果ガスの影響<sup>えいきょう</sup>による地球温暖化<sup>おんだんか</sup>について、別紙の【資料2】～【資料6】を見つけました。

二人の会話文と【資料2】～【資料6】を読み、問1～問3に答えなさい。

※1 温室効果…大気中の二酸化炭素などの気体が地表から放出される熱を吸収して地球の気温を上昇させること。

たかし：新潟市の環境<sup>かんきょう</sup>についてタブレットで調べていたら、【資料2】から【資料5】を見つけたよ。

さくら：新潟市はゼロカーボンシティを目指しているんだね。（ア）年までに二酸化炭素の排出<sup>はいしゅつ</sup>を実質ゼロにすると宣言<sup>せんげん</sup>したんだね。

たかし：へえ、すごいね。資料を見ると、新潟市では2013年から二酸化炭素の排出量<sup>はいしゅつ</sup>が年々（イ）傾向<sup>けいこう</sup>だね。

さくら：そうだね。資料では、新潟市は、（ウ）部門と業務部門と運輸部門から排出<sup>はいしゅつ</sup>される二酸化炭素の割合<sup>わりあい</sup>が全国と比較<sup>ひかく</sup>するとそれぞれ大きいよ。

たかし：ほかの政令指定都市と比べたらどうかな。

さくら：資料を見ると、（ウ）部門では、二酸化炭素の排出量<sup>はいしゅつ</sup>が全政令指定都市の中で2番目に多く、（エ）部門では全政令指定都市の中で最も高いみたいだよ。

たかし：そうかあ。二酸化炭素を減らす努力が必要だね。

さくら：うん。そういえば、図書館で過去の新聞記事を読んでいたら、【資料6】を見つけたの。私たちができることがあるかもしれないよ。

たかし：【資料6】を見ると、二酸化炭素は地球温暖化<sup>おんだんか</sup>に影響<sup>えいきょう</sup>があって、温室効果ガスと呼ばれているみたいだね。家庭では、その温室効果ガスの排出<sup>はいしゅつ</sup>が最も多いのは（オ）のようだよ。

さくら：そうなんだね。（オ）を節約することが大切なんだね。もし、節約せずに、このまま温室効果ガスによる地球温暖化<sup>おんだんか</sup>が進んだら、大変なことになってしまうね。

たかし：よし。それなら、新潟市の二酸化炭素の排出<sup>はいしゅつ</sup>の現状と課題をしっかりと踏<sup>ふ</sup>まえた上で、自分ができることをレポートに書くことにしよう。

問1 【資料2】～【資料6】を見て、たかしさんとさくらさんの会話文にある（ア）～（オ）に当てはまる数字や語句を書きなさい。

問2 【資料6】には、このまま地球温暖化<sup>おんだんか</sup>が進んだとすると、約80年後には新潟市でどんなことが起こる可能性があるかと書かれていますか。

【資料6】にある言葉を用いて、句読点を含め60字以上80字以内で書きなさい。ただし、数字や記号も1マスに1文字ずつ書くこと。

問3 あなたもたかしさんやさくらさんのように、二酸化炭素の排出<sup>はいしゅつ</sup>を減らし、地球温暖化<sup>おんだんか</sup>を止めることについてレポートを書くことにしました。

活用した資料番号を記入するとともに、以下の条件にしたがって、句読点を含め160字以上200字以内で書きなさい。

- 条件1 【資料2】～【資料6】のうち、2つ以上の資料の内容を踏<sup>ふ</sup>まえて書くこと。
- 条件2 自分の身の回りのことや習ったこと、経験したことを踏<sup>ふ</sup>まえて書くこと。
- 条件3 自分にできることを書くこと。

※ 著作権の都合上、別紙の【資料6】を掲載しておりません。

※ 著作権の都合上、【資料1】の著作物を掲載しておりません。

※ 著作権の都合上、【資料1】の著作物を掲載しておりません。

『世界で大活躍かっやくできる13さい歳の学び』

高橋一也たかはしかずや／主婦と生活社)より

※1 トピック…話題。また、話題となる出来事。

# 特集 ゼロカーボンシティを目指して

## ■ ゼロカーボンシティって何？

2050年までに、気候変動の大きな要因である二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量を実質ゼロにすることを目指すと公表した都市のことです。

新潟県とともに、新潟県内では新潟市、佐渡市、粟島浦村、妙高市、十日町市、柏崎市、津南町、村上市、新発田市、胎内市、小千谷市、燕市が表明しています。  
(2022年11月末現在)



### 二酸化炭素が たくさん出るとなぜ困るの？

- 地球全体の温度が上がる
- 海水面が上がる
- 熱中症・感染症患者が増える
- 異常気象が起こりやすくなる
- 害虫の生息地域が広がる

### 二酸化炭素は どうすると出てしまうの？

- 冷暖房など家電を使う
  - 自動車に乗る
  - 工場でものをつくる
  - ごみを燃やす
- 私たちの生活の中から  
二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が出るのです。

CO<sub>2</sub>を出さない取組は、  
すまじい新潟市で  
あり続けるためにも  
とっても大切!



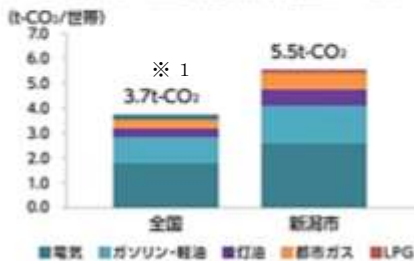
### 今の新潟市は…

新潟市は、ほかの都市と比べて家庭と自動車からの二酸化炭素を出す量が多いという課題があります。これは、家の床面積が広く、冬に暖房をたくさん使ったり、公共交通機関よりも自動車を使う人が多かったりするのが原因です。

こうした課題を解決するためにさまざまな取組を進め、新潟市の二酸化炭素排出量を2024年度までに2013年度に比べて30%、2030年度までに40%、2050年度までに80%減らすことを目標にした計画を2020年3月に作りしました。その後12月には、ゼロカーボンシティを目指すとして市長が表明しています。



世帯あたりの二酸化炭素排出量(2019年度)



新潟市の二酸化炭素削減目標



※1 t-CO<sub>2</sub>…二酸化炭素1トンを意味する単位。

出典：私たちがつくる新潟の未来 小中学生用環境教育副読本

【資料 3】

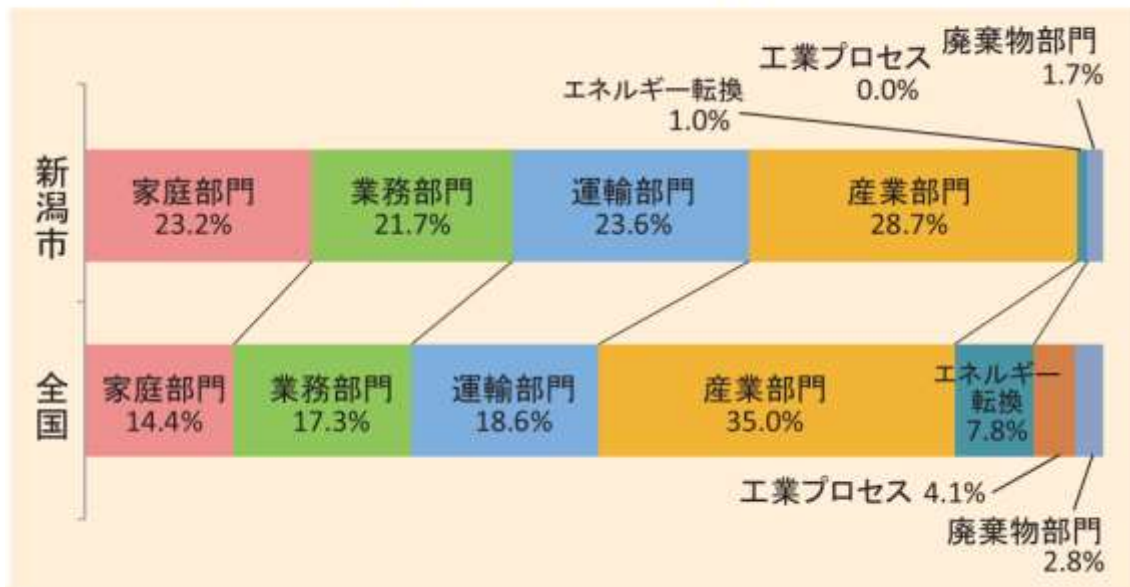
にさんかたんそはいしゅつりょう すいい  
新潟市の二酸化炭素排出量の推移



出典：私たちがつくる新潟の未来 小中学生用環境教育副読本より作成

【資料 4】

にさんかたんそはいしゅつりょうわりあい  
新潟市と全国の二酸化炭素排出量割合の比較(2018年度)



出典：私たちがつくる新潟の未来 小中学生用環境教育副読本



【資料 5】

家庭部門と運輸部門における政令市の二酸化炭素排出量(2019年度)



出典：私たちでつくる新潟の未来 小中学生用環境教育副読本

【資料 6】

※ 著作権の都合上、【資料 6】の著作物を掲載しておりません。